



☆ だれだって責任がある ☆

♪ドッドレミファ〜ソ〜ラシド〜♪は皆さんが聞いたことのあるフレーズ。そうです、はじめてのおつかいのお話です。5月の朝礼の話は『責任』です。さて、どうつながっていくのか？

子どもも大人もみんなにあるものが『責任』です。今日の児童朝礼では、役割という言葉にまず置き換えてみました。子どもたちは、学校生活の中でさまざまな役割をすでに持っています。1年生から6年生になるまでに、それぞれの学年でじぶんの役割を覚えて、責任を果たしていきます。もちろんすべて最初からうまくいくわけではないので、途中で投げ出したくもなります。自分で、もう一度だけと考え直したり、周りの友達や先生に、家族に何度も励ましてもらったりしながら、子どもたちは目の前の責任という壁を乗り越えて、ひとまわり強くなった自分を実感していきます。

登校班のリーダー・副リーダー。委員会活動委員長・副委員長。縦割り班掃除リーダー…と6年生・5年生はたくさんの責任をいくつも背負っています。すごいですよね。〇〇リーダーには決められた人だけができるのでしょうか。そんなことはございません。今朝、児童玄関で低学年の児童が一度は教室に入ったものの、再び玄関に出できて、なかなか校舎内に入ろうとしません。話を聞いてみると「カマキリを探している!？」とのこと。しばらく話をしていると、そこへ6年生がやってきて、その子のそばに付き添って「ふーん、そうかあ〜。じゃそろそろ入ろっか」と声を掛けます。そうすると2人目の6年生がやってきて同じように声を掛けます。実にお見事!! 2人に任せて、私は児童朝礼の準備へ…。



その子も6年生も、全員ちゃんとそろって朝礼に参加しました。6年生の「あなたをほっとけないんだよ」という優しい気持ちが伝わります。

『はじめてのお使い』のシーンでよく出てくるのが兄弟(姉妹)です。前半は兄姉が、「だだをこねる」弟妹を上手になだめながら進みます。途中でいろんな事に出くわして、お兄ちゃん・お姉ちゃんがそのうち泣き出します。ここで形勢逆転。いままでわがままばかり言っていた弟・妹がやる気を出します。リーダーの交代が起こり、兄と姉が励まされます。最後は二人そろって父母のもとへ…。

学校も同じで、励まし、励まされ、学年関係なく、その時々〇〇リーダーが活躍します。子どもたちは『ほっとけない』という素晴らしい責任感を発揮します。

みんながリーダーになります。

5月 品格教育目標

